

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO.11 2004年8月8日

目 次

第4回総会を終えて	1	臨床こぼれ話	6
総会の報告・学術局から	2	投稿コーナー	7
研修会のおしらせ	3	理事会等報告	8, 9
社会局から	4	おしらせ・求人情報	10, 11
施設紹介	5	事務局から	12

第4回千葉県言語聴覚士会総会を終えて

千葉県言語聴覚士会会长 村西 幸代

第4回千葉県言語聴覚士会（以下、千葉県士会）総会が6月27日千葉大学附属病院第3講堂で行われ、平成16年度の活動方針案など3つの議案が採択されました。総会終了後の平成16年度第1回研修会では、日本言語聴覚士協会会長の藤田郁代先生をお迎えし、熱気あふれるご講演を拝聴いたしました。

現在9000人近い言語聴覚士が全国で活躍しており、国の政策として「医療における診療報酬の改定」や「介護保険の見直し」また今年度から新たに「特別支援教育制度」も開始され、私たち言語聴覚士が活躍できる場の増えることが期待されます。そして、今後、ますます1つの職能組織として、地域組織と全国組織の連携が重要となって参ります。



このような状況の中、日本言語聴覚士協会は、言語聴覚士の質の向上や安心して働くことのできる環境整備として「生涯学習システム」「賠償責任制度」を導入いたしました。しかし、先に行われました第5回日本言語聴覚士協会総会で採択されたとはいえ、必ずしも会員の声を十分に反映したとは言いがたい面もありました。千葉県士会では昨年度よりみなさまからご意見を頂き、協会の「都道府県士会協議会」に参画し、協会に意見を言える機会を得ております。今年度もみなさまにご協力を頂き、地域組織の活動がより充実したものとなるよう、日本言語聴覚士協会に働きかけて参りたいと思います。

千葉県内における千葉県士会の活動と致しましては、千葉県健康福祉部が行っています「千葉県母子保健協議会新生児聴覚検査専門部会」に委員として参加しております。また7月5日には千葉県理学療法士会、千葉県作業療法士会とともに「PT・OT・ST・役員連絡会」の立ち上げに参加してまいりました。これからはPT士会、OT士会とも意見の交流ができる場が確保されました。今後は地域のリハビリテーション活動も一層充実させていくことができると思われます。

今年度もみなさまのご協力を頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。

第4回千葉県言語聴覚士会総会の報告

日時：平成16年6月27日（日）13：10～14：10 場所：千葉大学医学部附属病院 第3講堂

議長：吉谷 裕美（総泉病院） 副議長：武田 智子（千葉中央メディカルセンター）

書記：酒井 千代（佐倉ホワイエ） 大長 智代子（千葉脳神経外科病院）

議事録署名人：宇野 園子（我孫子市身体障害者福祉センター） 新井 千絵（船橋市医療センター）

会員数：184名 出席者数：110名（当日参加58名、委任52名）

．報告事項 …… 平成15年度活動報告、決算報告、会計監査報告がなされました。

．協議事項

1. 第1号議案 平成15年度決算報告の承認に関する件

2. 第2号議案 平成16年度活動方針案に関する件

3. 第3号議案 平成16年度予算案に関する件

以上の件が提出され、賛成多数により承認されました。

学術局から

1. 平成16年度第1回研修会報告

平成16年6月27日（日）千葉大学医学部附属病院第3講堂にて、今年度の第1回研修会を開催しました。今回は国際医療福祉大学の藤田郁代先生をお招きし、高次脳機能障害についてご講演をいただきました。テーマは「脳外傷の高次脳機能障害-認知・コミュニケーション障害の評価-」です。参加者は98名でした。（会員・会友62名、会員外13名、学生23名）

当日行ったアンケートの結果を、一部ご紹介します。

- 実際に担当した患者さんの状態と照らし合わせることで、具体的な評価方法や反応の仕方から、適切な症状の解釈と訓練の方法について理解できた。反省と今後の課題に良い資料となりました。
- 談話機能に関して、PIQ、語想起との関連、事象・推測文としての抽出など、評価していくポイントを理解することができました。
- 高次脳機能障害に対するSTの取り組むべき領域がはっきりとした。評価のみでなく訓練と生活での実行が必要というお話には本当に納得できました。
- 臨床を進めていく中で注意・認知・遂行が問題となる方が多く、どうアプローチしていくべきか常に悩んでいたが、コミュニケーションという土台を基に置いてじっくり取り組んでいくことで、新たな視点を頂けたと思います。
- 日常の臨床での一つ一つのケースの大切さを改めて感じました。老健のデイケアの方に、脳外傷の方がいらしているので、今日の講演を参考にさせていただき、今までとは違う視点からみてみたいと思います。
- 脳外傷の患者さんの評価・訓練に混乱していた部分もあり、本日の研修テーマは非常に勉強になりました。また、臨床やSTとしてのアイデンティティーに関する藤田先生の熱いメッセージは、心に響くものがありました。できれば、本日のテーマに関するペーパーなどの資料がほしいです。
- テーマに関する考え方、具体的方法論、実際のデータなど、幅広くご説明（ご講義）いただき、とても勉強になりました。また、藤田先生のSTを育てる熱い思いをお聞きし、身の引き締まる思いです。ありがとうございました。

学術局より

研修会へのご参加とアンケートのご協力ありがとうございました。皆様からは「脳外傷の高次脳機能障害及び談話機能の障害について詳しく理解することができた。」などの多くのご意見をいただきまし

た。なお講演の中で紹介された「談話機能検査」は、現在標準化に向けてデータ収集を行っている段階とのことですので、皆様にはご了承いただければと思います。今後とも研修会へのご参加とご意見をお待ちしています。

2. 研修会のおしらせ（別紙もご参照ください）

平成16年度第2回研修会

研修会を次のように計画しています。症例検討会後は講師の先生を囲んで情報交換会も予定しています。症例で悩んでいる方、経験の浅い方等お気軽にご参加ください。

- * 日 時 平成16年9月25日（土）13時～16時
- * 会 場 千葉県こども病院1階 第1会議室
- * 講 師 講師の先生1名で、ご助言とご講演をいただく予定です。
- * テーマ A D H D が疑われる小学生の事例
ことばの教室・幼児の言語相談室・通常学級の担任の連携を通してー
- * 提案者 印西市ことばの発達相談室 渡邊 裕貴
印西市立内野小学校ことばの教室 齊藤恵美子
- * 参加費 会員・会友無料、会員外 500円、学生 500円
- * 申し込み及び問合せ先：〒272-0823 市川市東菅野2-12-4 市川ことばの会 野島 洋子
TEL:047-324-4348 FAX:047-324-4348（電話でのお問合せは18:30以降にお願いします）

3. 研修会ビデオの貸し出し

これまでに行った研修会ビデオの貸し出しを行っています。下記の要領でお申し込みください。

貸し出し期間：1ヶ月

方法：返信用封筒（B5またはA4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（ビデオ1本270円分、2本390円分）を貼って送ってください。

あて先：〒266-0005 千葉市緑区誉田町1-45-1 千葉県袖ヶ浦養護学校 小学部 野島 洋子

貸し出しビデオ：

- 「ST があこなう高次脳機能障害の臨床」 講師 鈴木 勉先生（東京都立墨東病院）
- 「言語発達遅滞：関係の中で育つことば」 講師 長澤泰子先生（日本橋学館大学）
- 「脳卒中の摂食・嚥下障害-臨床の実際-」 講師 矢守麻奈先生（都立駒込病院）
- 「重複障害児のAAC - 日常生活とST訓練を結ぶ」 講師 知念洋美先生（千葉県千葉リハビリテーションセンター）
- 「記憶障害の臨床像と対処法-症例を通して-」 講師 安田 清先生（千葉労災病院）
- 「慢性期重度コミュニケーション障害者への支援 - 通院及び通所（デイケア）リハビリテーションにおける言語訓練と生き甲斐作り-」 講師 横張琴子先生（松戸神経内科）
- 「コミュニケーションの発達と支援 - 前言語期から言語獲得に向けて-」 講師 長崎 勤先生（筑波大学）
- 「脳外傷の高次脳機能障害 - 認知・コミュニケーション障害の評価 -」 講師 藤田郁代先生（国際医療福祉大学）

* 貸し出しについての注意

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。ビデオテープの代金を弁償していただきます。

3. 研修会資料の送付

希望者に研修会資料の配布を行っています。返信用封筒(A4サイズ)に住所、氏名を書き、切手(200円分)を貼って送ってください。あて先はビデオ貸し出しと同様です。

対象資料：

上記のビデオ、の資料及び下記のとおりです。

症例検討会「成人の高次脳機能障害」

発表者：武田智子先生（千葉中央メディカルセンター 前・加曽利病院）酒井千代先生（佐倉ホワイエ）

助言者：鈴木勉先生（都立大塚病院）相見優子先生（下総病院他）

症例検討会「小児のコミュニケーション障害」

発表者：小宮山則彦先生（亀田クリニック）依田美都先生（帝京大学市原病院）

助言者：田中康雄先生（国立精神・神経センター国府台病院）

知念洋美先生（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

脳外傷の高次脳機能障害 - 認知・コミュニケーション障害の評価 - 講師 藤田郁代先生（国際医療福祉大学）

4. 地域の勉強会について

昨年度から会員の皆様のご協力により、地域の勉強会が開催されています。同封の「千葉県内で行われる地域の勉強会情報」をご参考の上、奮ってご参加ください。また、ホームページではこの情報について随時更新を行っていますので、ぜひご利用ください。希望者にはメールマガジンでのアナウンスも行っていますので、そちらもご参考ください。

社会局から

1. 特別支援教育プログラムについて

情報提供のお願い

社会局では、平成16年にガイドラインがまとめられ、小中学校で導入されることとなった、LD・ADHD・高機能自閉症の児童への教育支援“特別支援教育プログラム”についての情報収集を行っています。資料や情報をお持ちの方はぜひご提供ください。またご意見などもお待ちしております。

実態調査委員会について

特別支援教育プログラムについて、実態調査委員会を組織する予定です。現在、委員を募集しておりますので、ご協力いただける方はご連絡をください。

2. ホームページについて

皆様からのご意見や情報をお待ちしております。

[会員専用ページパスワード] affordance

社会局では、ホームページの編集作業のお手伝いをしてくださる方を募集しております。ご協力をぜひお願いいたします。



施設紹介

鎌ヶ谷市幼児療育指導室 ST 吉田 浩滋

【沿革】

鎌ヶ谷市は、市川市、船橋市、松戸市、白井市に囲まれた人口10万人の都市で、ここに幼児療育指導室が開設されたのは平成3年です。

開設当初は、言語聴覚士のほかに理学療法士、作業療法士、心理発達相談員、保健婦、保育士、ケースワーカーがあり、市内に住んでいる幼児の発達にかかわるあらゆる問題に対応してきました。しかし、現在は言語聴覚士と保育士（ケースワーカーを兼ねる）の2名だけとなりました。マザーズホームの保育士が兼務になっているとはいっても、マザーズホームは市のはずれにあり、兼務とは名ばかりとなっています。

【対象】

対象は18歳未満となっており、現在言葉や聴こえ、発達等に心配を持つ方で継続フォローを求めている方や、発達上の問題があつて指導を受けている方など200名以上が在籍しています。

日常の相談・指導の他にはマザーズホームへの派遣、保育園への巡回相談を行っていますし、言語聴覚士としては地区のリハビリ教室や身体障害者福祉センターで行っている成人対象の言語リハビリ教室の指導も行っています。

なぜ年々、人員が縮小されているのかということには専門職側の問題も多々あると思いますが、行政のなかにあって専門職がその存在感をアピールできないということもあると思います。他山の石としては学ぶところが大きな施設でしょう。

所在地：〒273-0195 鎌ヶ谷市初富 928-744 TEL：047-445-1141(内線)738

柏厚生総合病院 ST 木村 知希

当院紹介

当院は柏駅から徒歩10分の住宅街に位置しております。15の診療科目を持ち病床数263床のうち一般病棟182床・療養型病床群（医療型）78床・人間ドック3床を所有、亜急性期から慢性期までの治療に携わっており1日約700人前後の外来患者を迎えております。また埼玉にある上尾中央医科グループを母体とし、その一環にある病院です。

リハビリテーション科及びST業務

通常のリハビリ科の他に通所・訪問リハビリを実践。PT14名・OT9名・ST3名・通所スタッフ6名・受付2名の計34名体制。リハビリ科は今年で7年目を迎えました。対象疾患はCVA・骨折・OAなどの疾患に対応しています。

昨年の3月にST部門を開設し常勤3名体制にてCVA疾患を中心に嚥下障害・構音障害・高次脳機能障害・失語症の順の患者層に訓練をさせていただいています。現在、外来患者様を中心に「集い」の開催・病棟との嚥下相談会・グループ内におけるST援助・ST部門での勉強会、またVF検査の導入・訪問STに向けた準備をしております。院内におけるST部門の浸透性は低い状況ですが、患者様第一をモットーにハートのある質の高い訓練を心がけている次第です。幾分まだ未熟ですが何卒よろしくお願ひ致します。

所在地：〒277-8551 柏市あけぼの3-8-20 TEL：04-7145-1111 FAX：04-7140-0311

E-mail：rehabil@kashiwakousei.or.jp

臨床こぼれ話

維持期の言語臨床の現場より

長期療養型の病院に勤務する成人領域臨床2年目です。STの世界では何かと敬遠されがちな（？）維持期の言語臨床（以下「維持期」と略）ですが、私はやりがいのある領域と感じています。その理由も含め、この1年を振り返りつつ率直な感想を述べたいと思います。

まず、維持期だからとかいう以前に感じたことは、言語臨床（コミュニケーション面）では、患者様のモチベーションや意欲がいかに重要なことかということです。特に維持期では、回復期で機能的にゴールに達したか、訓練にこぼれた方が来るため、訓練に対する意欲の低下や拒否、心理面で落ち込んでいる方も珍しくはありません。したがって、患者様のモチベーションを高めることが最初の目標であり、それがSTの役割の7割以上ではないかとも感じています。必ずしも全ての方のモチベーションや機能の向上に寄与できるわけではありませんが、維持期ならではのあせらず粘り強くアプローチすることにより、患者様に変化がみられる事も少なくありません。回復期でなくともワンステップの向上を目指すことも不可能ではないことを患者様から教えられることもしばしばです。

このようなケース以外にも、維持期ではコミュニケーション障害が超重度で、訓練としての適応は乏しく、回復期の施設では訓練が行なわれないような方でも、（御家族の方の希望もあったりで）言語処方があります…というよりは、当院ではむしろこのような方のほうが多いですね。大きな反応も期待できない中、家族の前で脂汗をかきながら何かを行うことはかなりのプレッシャーですが、ごく小さな変化でもあれば共に喜べるという面もあります。アプローチの限界があり、何を行っても正解でもないし間違いでもないという状況の中、何が出来るのか、何か出来ることはないと模索・試行錯誤しながら日々考えることは、大変なことでもあります。人間としてSTとしてのセンスが求められるところでもあると感じています。

また、時間をかけてじっくり取り組めることの利点は、コミュニケーション面のみならず嚥下臨床でも言えることだと思います。患者様が維持期に来るまでの過程で、経口摂取は不可とされた方でも直接訓練の適応のある方が意外にも（？）多いのです。時間をかけてじっくり訓練することにより、経口摂取が可能となり（程度の差はありますが）QOLが向上した方も少なくありません。このような実績が少しずつ認められ、当院では6月より全病院規模で嚥下機能のチームアプローチを目指す委員会が立ち上がるなど、徐々にではありますがSTの役割が期待されつつあるのを感じています。

このように、維持期は「アカデミックに機能訓練！」という訓練士的な派手さ（？）は少ないものの、人間対人間として深く関わることが出来る、地味な中にもやりがいの見出せる現場であるということをご理解いただければと思っています。（K）

次号は、50年近くにわたり、千葉県で発達障害児・者を対象に言語指導を続けてこられた渡邊氏に引き継ぎます。渡邊氏は、私設のクリニックを最近閉鎖されましたが、今なおその保護者の方々との勉強会などもボランティアで熱心に進めておられます。私たちの大先輩からのお話です。

どうぞお楽しみに！！

..... 投稿コーナー

前号のニュース 10 の「臨床奮戦記『病院に依存的になってしまっている患者様に ST としてできることは?』」に対して、会員の U さんから以下のようなご意見、ご提言をいただきました。投稿してくださった U さんに心から感謝申し上げます。

臨床奮戦記を読んで、これはやはり何らかの手を打たなくては、と思いました。感じたことを少しまとめてみましたが、ご参考になれば幸いです。

まず、ST が考えるべき大切なポイントだと思うことは、

これまで言語症状のみにとらわれて、患者の生活を見てくるのを忘れてはいなかったか。

何を長期的な目標としてリハをやってきたのか。

発症後わずか 1 年半で簡単に「慢性期」とか「プラトー」と言ってはいけない。
などでしょうか。

A さんは発症後 5 年ですから、レセプトがつき返される可能性のあるケースです。が、B さんと C さんは 1 年半なので、たとえ症状があまり変化していないなくても、その他の面でできることは山ほどあるし、やってあげなくてはいけないと思います。訓練を中止するかどうかの目安は、まわりが見て、これ以上回復しないかどうかではなくて、本人が「大丈夫」と元気に前向きに生きてゆけるかだと思います。そうでないと、訓練終了になった途端、別の医療施設のショッピングをなさる方もいます。発症後 1 年や 2 年では、まだまだコミュニケーションが思うようにならない苦しい立場にあるのが普通ですから、言語訓練の場が多少ともそれをわかってもらえる唯一の時間かもしれません。本人が元気になるために何が必要か見極めて、「友の会」に任せることではなく、訓練の場で ST が対策をたててあげればいいのではないかでしょうか。心理的に障害を受け入れられるようになるまでには最低 2~5 年くらいかかります。

私は都内の某診療所併設の施設で超慢性期の失語症者の訓練などをしていますが、発症後 5 年目から訓練をお引き受けしている 8 年目の方がいます。個人訓練にこだわって、私のところで 4ヶ所目でした。もと法律関係の仕事をされていた方で、新聞を読むのと散歩のみが日課。失語は中重度、杖歩行がやっとです。宿題は日記カードから写す日記と毎日の新聞から気になる記事を写すこと。ご希望どおり個人訓練でそれについて話をしたり音読をしたりしながら、たまには時間の都合ということで、他の患者さんと 2 人で訓練を組んだりもしました。散歩には電動車椅子を紹介して行動範囲を広げて、散歩の途中での買物や区のイベントへの参加も勧めてみました。この方が、半年前、区の身障センターのパソコン教室に申し込み、今はセンターに行くことを中心に、自分から訓練回数を月 1 回に減らされました。今でもまだ仕事に変わる何かが見つからない状態で、当分おつきあいは続くと思います。言語のリハは時間がかかるもの、けれど必ず変化はある、ということです。

友の会は、いきなり紹介するのではなく、まず、院内で 2 人ぐらいのグループから始めてみてはどうでしょうか。症状や年齢は必ずしも同じでなくてもいいと感じています。それから友の会の例会ではなくて、友の会主催のイベントに誘う。その時、必ず ST も同行します（手弁当ですが）。

それから、訓練教材をその方の生活にあったものに切り換えていくのも大切だと思います。私は初回の時に必ず「趣味」とか「好きだったこと」「得意だったこと」を聞きますが、これを訓練課題に使います、同じ趣味の人がいたら、グループを組んでもいいし、宿題としてその特技で何かやってもらいうのもいいと思います。そして「できる」経験を積み重ねていくと、生きる自信につながってくるようと思うのですが。軽い方には教材として闘病記を読んでもらうのも役に立ちます。そしてご自分の闘病記も書いてもらうといいですね。

最後に、最近出版された「失語症者言語聴覚士になる」（平澤哲哉著、雲母書房）をご紹介します。失語症者の気持ちが良くわかると思うので、一読をお勧めします。

理事会・監査・委員会報告

平成15年度理事会報告

第22回

日時：2004年3月31日（水）19：50～24：00 場所：千葉大学附属病院 第2会議室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、野島、野原、村西（理事7名）田中、古川（書記2名）

（会長より）・千葉言友会の「吃音を考えるつどい」後援について ・他関連職能組織からの送付物について
（事務局より）・平成15年度事務局活動報告について ・平成15年度一般会計決算報告について
・新入会員の承認について ・千葉言友会の「吃音を考えるつどい」後援について ・千葉県士会第4回総会について
(学術局より)・平成15年度第4回研修会報告について ・平成15年度学術局活動報告について
(社会局より)・新生児聴覚スクリーニング事業に関するアンケートについて ・平成15年度社会局活動報告について
・支援費制度に関するアンケートのまとめについて

第23回

日時：2004年4月11日（日）13：00～17：00 場所：高洲コミュニティーセンター 第1講習室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、野島、野原、村西（理事7名）田中、古川（書記2名）

（会長より）・他関連職能組織からの送付物について
（事務局より）・平成15年度事務局活動報告、活動方針について ・平成15年度一般会計決算報告について
・新入会員の承認について ・平成15年度監査について
(学術局より)・平成15年度学術局活動報告について
(社会局より)・平成15年度社会局活動報告について ・平成16年度社会局活動方針について

第24回

日時：2004年4月18日（日）16：45～21：00 場所：高洲コミュニティーセンター サークル室2

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、野島、野原、村西（理事7名）田中（書記1名）

宇野園子（ＳＴ業務実態調査委員会）

（会長より）・言語聴覚士法施行規則の一部を改正する省令の施行に関する通知について
(事務局・学術局・社会局より)・平成15年度活動報告、活動方針、活動方針説明資料について
(ＳＴ業務実態調査委員会より)
・ＳＴ業務実態調査委員の宇野園子氏より「平成14年度医療保険診療報酬改定後の千葉県における言語聴覚士の業務に関する実態調査報告」について
(新生児聴覚スクリーニング委員会より)
・平成16年4月18日に開催された新生児聴覚スクリーニング委員会での協議内容について
(地域組織委員会より)・平成16年4月18日に開催された地域組織委員会での協議内容について ・名称について

平成15年度活動及び会計監査報告

日時：2004年4月27日（火）20：00～23：00 場所：千葉大学医学部附属病院 第3会議室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、野島、野原、村西（理事7名）田中（書記1名）

（事務局より）・平成15年度活動報告について・平成16年度活動方針説明資料、一般会計予算について
・新入会員の承認について ・総会の開催時期について
(学術局より)・平成16年度活動方針説明資料、一般会計予算について ・地域別勉強会の情報公開方法について
(社会局より)・平成16年度活動方針説明資料、一般会計予算について ・千葉言友会からの提案について
(監事より)・平成15年度活動及び会計監査が行われ、滞りなく終了したことが報告された。

平成16年度理事会報告

第1回

日時：2004年5月13日（木）19：45～23：30 場所：緑ヶ丘公民館 1階和室

出席者：勝又、神作、柴田、竹中、野島、野原、村西（理事7名）田中（書記1名）

（会長より）・埼玉県言語聴覚士会の学術集会の案内について ・千葉市ケアマネ会報について

・日本言語聴覚士協会生涯学習システムについて ・講師依頼への対応について

（事務局より）・平成16年度一般会計予算（案）について ・会員の承認について ・事務所開設について

（学術局より）・平成16年度第1回研修会のお知らせについて ・地域の勉強会についての案内について

（社会局より）・平成16年度活動方針説明資料について

第2回

日時：2004年5月27日（木）19：30～22：40 場所：緑ヶ丘公民館 小集会室

出席者：勝又、神作、竹中、野島、野原、村西（理事6名）田中（書記1名）

（会長より）・日本言語聴覚士協会からの名簿送付について ・地域における特別支援教育への取り組みについて

（事務局より）・平成16年度一般会計予算について ・第4回総会議案書について ・事務局備品の購入について

・第4回千葉県言語聴覚士会総会議案書および同封資料について ・第4回総会の当日配布資料について

（学術局より）・平成16年度第1回研修会のお知らせについて

（新生児聴覚スクリーニング検討委員会より）・新生児聴覚スクリーニング検討委員会主催の研修会開催について

（地域組織委員会より）・生涯学習システムについてのお知らせについて

第3回

日時：2004年6月3日（木）19：50～23：00 場所：緑ヶ丘公民館 小集会室

出席者：勝又、神作、竹中、野島、野原、村西（理事6名）田中（書記1名）

（事務局より）・平成16年度一般会計予算について ・新入会員、会友の承認について

・第4回総会議案書および同封資料について ・印刷物の印刷製本業者依頼について

（学術局より）・平成16年度第1回研修会のお知らせについて ・千葉県内で行われる地域の勉強会情報について

（地域組織委員会より）・生涯学習システムについてのお知らせについて

第4回

日時：2004年6月18日（木）20：00～11：00 場所：理事自宅

出席者：勝又、竹中、野島、野原、村西（理事5名）古川（書記1名）

（会長より）・新入会員の承認について ・会員の名簿の変更について ・第4回県士会総会について

・日本言語聴覚士会 都道府県士会協議会の報告

（事務局より）・第4回総会のタイムスケジュールについて ・議長団について ・総会当日に配る資料について

・総会の準備について ・年間スケジュールについて

（学術局より）・平成16年度第1回研修会について

実態調査委員会の報告

第5回 日時：2004年3月28日（日）9：00～12：00 場所：高洲コミュニティーセンター

出席者：新井、宇野、木村、古森、宮本、竹中 ・実態調査報告書のまとめ

新生児聴覚スクリーニング検討委員会の報告

第4回 日時：2004年3月21日（日） 10：00～12：00 場所：千葉市療育センター ふれあいの家 第一第二会議室 出席者：岡田、荻洲、庄司、高橋、村西、斎藤 ・保護者向けのパンフレット作成について

第5回

日時：2004年4月18日（日） 10：00～12：00 場所：千葉市療育センター ふれあいの家 第一第二会議室

出席者：岡田、荻洲、庄司、高橋、村西、斎藤

・千葉県耳鼻咽喉科医会学術講演会について

・精査までの体制整備、保護者支援整備について ・保護者向けのパンフレット内容について

第6回

日時：2004年5月23日（日） 10:00～12:00 場所：千葉市療育センター ふれあいの家 第一第二会議室

出席者：岡田、荻洲、斎藤、庄司、高橋、村西、勝又

・第2回県専門部会について ・保護者向けパンフレットについて ・研修会の内容について

第7回

日時：2004年7月11日（日） 10:00～12:00 場所：千葉市療育センター やまびこルーム 言語学習室

出席者：岡田、荻洲、斎藤、庄司、高橋、村西、勝又 ・研修会について ・保護者向けパンフレットについて

・今後の具体的な課題について （紙面の都合上、報告と協議事項をまとめて掲載しています。）

.....おしらせ.....

人権問題講演会

平成16年9月2日（木）14:00～16:20

千葉市文化センター 3階アートホール 500名 入場無料

講演者：鈴木ひとみ（エッセイスト） 主な著書：「命をくれたキス」、「一年遅れのウェディングベル」

主催：千葉県 問合せ：千葉県健康福祉部健康福祉政策課人権室 TEL 043-223-2348

理学療法士学会

平成16年9月4日（土）・5日（日） 浦安市文化会館 〒279-0004 千葉県浦安市猫実1-1-2

1日目：生涯学習（新人教育プログラム）

A - 最近の理学療法の知見から - 座長 青木 主悦 先生（帝京平成大学）

「急性呼吸不全の理学療法（仮）」 講師 鵜澤 吉宏 先生（亀田総合病院）

「神経内科疾患の評価からわかること」 講師 川口 祥子 先生（東京慈恵医科大学）

「スポーツ現場における理学療法の実践的取り組み」 講師 脇元 幸一 先生（船橋整形外科）

B - 地域リハビリテーションネットワーク - 司会 両角 昌実（藤リハビリテーション学院）

「千葉県地域リハビリテーション支援事業・高次脳機能障害支援モデルを通して」

講師 太田 令子 先生（千葉県千葉リハビリテーションセンター 地域支援部長）

2日目：学会 *受付は9時30分まででその後は入場できません。

講 演 10:30～「わが国の福祉と医療」、「家族介護の経験と県の取り組み」

演題発表 口述・ポスター発表

参加費：5,000円

参加申し込み：「理学療法士学会参加希望」とお書きいただき「参加者氏名・所属・住所・電話番号」を明記の上、FAXまたはE-mailで「千葉県言語聴覚士会事務局」宛てにお申し込みください。8月13日（金）までに必着でお願いします。

FAX：0438-36-3867「君津中央病院 リハビリテーション科 言語聴覚室」

E-mail：chibakenshikai@zp.moo.jp

.....求人情報.....

詳細は、千葉県言語聴覚士会ホームページをご覧下さい。

坂の上外科

職種：言語聴覚士 常勤もしくは非常勤1名

施設概要：一般外来リハ、通所リハ、訪問リハ

待遇：当院規定優遇 勤務時間：8時30分～17時30分（応相談） 勤務日：応相談

TEL 043-294-5551 FAX 043-294-6513 担当：リハビリテーション科 PT 波平（なみひら）

成田病院 急募

職種：言語聴覚士 常勤1名 対象：成人（失語、構音障害、嚥下障害等）

条件：国家資格取得者、経験年数3年未満の方 採用時期：随時

成田市押畠896 TEL 0476-22-1500（代） 総合リハビリテーション科長 奥山

千葉徳洲苑

職種：言語聴覚士 非常勤1名（できれば経験者、出勤日数は相談に応ず）

対象：入所100人、デイサービス定員60名 採用時期：随時 給与：時給1,500円

その他：交通 新京成高根公団駅 千葉徳洲苑は送迎バスが出ます。

〒274-0068 船橋市大穴北7-22-1 TEL 047-457-8411 FAX 047-457-9800 担当：中澤

総泉病院

募集：言語聴覚士 常勤1名 対象：成人（失語症、構音障害、嚥下障害）

採用時期：随時

千葉市若葉区更科町2592 TEL 043-237-5001 リハビリテーション科 担当宮崎・田中

袖ヶ浦市幼児ことばの相談員

募集：幼児ことばの相談員1名 勤務：1年間 週2回

給与：日額 8,400円 交通費の支給なし

TEL 0438-62-2111（内）326 FAX 0438-63-1310 袖ヶ浦市役所厚生課 担当：松野

成田市ことばの相談室

募集：言語聴覚士（小児臨床の経験者・要免許）1名

対象児：言語発達遅滞・脳性まひ・構音障害・聴覚障害・吃音など

勤務時間：月～金 8:30～17:00 雇用期間：1年（平成16年4月～平成17年3月）

時給：1,160円 成田市保健福祉館健康管理課（ことばの相談室）TEL 0476-27-1111 担当：斎藤

白井市こども発達センター 急募

募集：言語聴覚士資格をもち、児童療育の経験のあるST1名<臨時職員>

対象：こども全般 勤務：来年度1年間 月～金、午前8時半～5時15分

時給：1,150円（8時間勤務、有休あり、皆勤5,000円、交通費あり）

TEL 047-497-3489 白井市こども発達センター 担当：エイカワか大塚

特別養護老人ホーム あすみの丘

募集：言語聴覚士 非常勤1名(経験ある方尚可)

対象者：特養入所者50人 デイサービス30人の一部

勤務日：平成16年4月から 週2回 2時間/回 (曜日・回数・時間は応相談)

千葉県四街道市大日 1623-1 TEL 043-421-5188 FAX 043-421-5189 担当：星

浅井病院

募集：言語聴覚士 勤務形態：常勤・経験者希望

対象：成人の失語症、dysarthria、摂食・嚥下障害等

〒283-8650 千葉県東金市家徳38-1 TEL 0475-58-5000(代表) 担当：企画管理 浅岡・ST若梅

小張総合病院

募集：言語聴覚士 勤務日：4週8休 勤務内容：成人、小児の言語障害

採用時期：随時

給与：当院規定により優遇 経験加算あり 賞与：年2回

〒278-8501 千葉県野田市横内29-1 TEL 04-7124-6892 リハビリテーション科 小林

塩田病院

募集：言語聴覚士 新卒・経験者問いません 常勤2名

勤務開始時期：6月から随時

対象：主に成人、失語症及びdysarthria、嚥下障害

千葉県勝浦市出水1221 電話 0470-73-1221 リハビリテーション科 PT宮島 ST斎藤まで

八千代ケアセンター

募集：言語聴覚士 施設区分：介護老人保健施設 勤務時間：午前9:00～午後6:00(うち休憩60分)

給与：基本給 200,000円 その他手当 50,000円 賞与：年2回

千葉県八千代市島田55-1 電話 047-488-8788 FAX 047-488-7077 担当 鈴木(事務)

事務局から

新入会員のお知らせ(敬称略) 会員数：正会員197人 会友21人

正会員

村田沙由里(さかき光陽)

石上志保(東京医薬専門学校)

矢内聰子(千葉県こども病院)

鈴木洋美(大倉リハビリクリニック)

中村 梓(白井市こども発達センター)

松澤晶子(沼南リハビリテーション病院)

計良陽子(成田病院)

熊倉紀子(亀田メディカルセンター)

海津 綾(市川市リハビリテーション病院)

松本恵子(八千代市立勝田台小学校)

山口晴美(千葉県こども病院)

庄子麻美子(柏厚生総合病院)

石田瑞恵(安孫子市ロイヤルケアセンター)

伊井温子(沼南リハビリテーション病院)

黒崎明子(みつわ台総合病院)

藤永直美(希望病院)

榎本美智子（小張総合病院）

山川直行（新松戸中央総合病院）

香川 哲（亀田総合病院）

榎本綾子（すいせんの里）

藤田 誠（亀田総合病院）

廣川仁美（亀田総合病院）

会友

橋本祐子

秋葉榮子

成田直子

早川 薫

橋崎江美（旭神経内科リハビリテーション病院）

小島亜希子（筑波病院）

鈴木かおる（聖母療育園）

山田 幸（松戸市六実小学校）



編集後記

今年はなんて暑いのでしょうか。扇風機の風に資料を飛ばされながら、やっと編集が終わりました。今回から、より読みやすく多くの情報提供ができるようスタイルを変えてみましたが、いかがでしょうか。
今年度も1年間よろしくお願ひいたします。(S)

事務局

〒292-8535 千葉県木更津市桜井 1010 君津中央病院 リハビリテーション科 言語聴覚室

TEL :(0438) 36-1071 FAX :(0438) 36-3867 E-mail : chibakenshikai@zp.moo.jp

<http://users.hoops.ne.jp/crst2002/> 会員専用パスワード : affordance